

スタートアップ部門 まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	名古屋水域活用研究会（なごや再発見舟めぐり）	
まちづくり 活 動 名	舟遊び・舟運による水辺の活性化	
活 動 地 域	名古屋市内の河川（堀川、新堀川、中川運河、新川）とまちづくり拠点（宮、桑名住吉、納屋橋、円頓寺 etc）	
活 動 の 背 景	現在年間 1.7 億人が往来する東海道。最大の宿場町「宮」と「桑名」は東海道唯一の海路「七里の渡し」で結ばれていた。東海道最大の宿場町「宮」と「桑名」を結ぶ唯一の海路「七里の渡し」は愛好者が多いが堀川・中川運河からの利用が出来てない。	
目的・目標	■ 目的 市街地から気軽に利用可能な舟運調査と舟運遺構保全と活用方法の具体的提案 ■ 目標 街づくり拠点（宮、納屋橋、円頓寺 etc）の舟運遺構調査、舟運遺構の現状・保全検討、桑名住吉地区との連携活性化検討 ■ 成果 堀川の舟運と宮の渡し航路とのパッケージ化による相乗効果、舟運・水辺利用の促進、街道愛好家への情報提供	
活 動 内 容	コロナ感染対策として WEB ミーティングを活用（現地調査以外） R 2 - 堀川における街づくり拠点（宮、納屋橋、円頓寺 etc）、舟運遺構の現状・保全状況調査 - 綱取り講習（利用船舶による乗降機能・安全確認） R 3 - 地元関係者（宮、円頓寺）、港湾、水上交通管理者のヒアリング - 中川運河における街づくり拠点（堀留地区 etc）、舟運遺構の現状・保全状況調査（利用船舶による乗降機能・安全確認） - 綱取り講習（利用船舶による乗降機能・安全確認） R 4 - 試行企画の立案（堀川・中川運河） - 街づくり拠点と宮の渡し航路を通じたの運航実験 R 5 ～ - 街づくり活性化企画と連携した舟運水辺街づくりの実行	
活 動 予 定 期	R 2 年 7 月 ～ R 5 年 3 月	
助 成 金 交 付 申 請 額	50,000 円	※1 回目（上限 5 万円） ※2 回目、3 回目（上限 10 万円）

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性	・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
(活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。) 堀川まちネットなどの地元関係者の清掃などもあり、宮の渡しは維持されているが、現在は常設の渡し舟はなく(年に一度堀川まちネットが催行)、名古屋駅からのアクセスも悪いく、街道愛好家は東海道唯一の海路を身近に楽しめないという声が多い。 また堀川にある舟運遺構は消失しつつあり保存気運が高いが乗降機能など具体的な接岸乗船等が長年行われておらず、中川運河では、ほぼ接岸乗船等がされてないため、備船による試乗等が必要である。	
審査基準② 実現性	・活動内容が具体的になっているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か
(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。) 舟運遺構の利用、特に可航接岸の安全確認、綱取り講習など運営補助体制をとHP作成程度から対応する。 堀川まちネット、あつた宮宿会、桑名七里の渡し関係者と、堀川や中川運河関係者への情報共有を進めれば、既存ネットワークのリンクで対応できる。 今後は舟運遺構からの乗降機能も含めた可航条件や調整手続きについて、街道文化愛好者や堀川・中川運河など水辺周辺まちづくり関係者も含めた情報共有が出来れば相乗効果が期待できる。	
審査基準③ 発展性	・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか
(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。) 堀川や中川運河など水域を軸として、名古屋駅や名古屋城、円頓寺、納屋橋など堀川周辺の拠点と、熱田、港の結びつき、伊勢神宮信仰など広域な広がりを持っている。全国の街道文化愛好者にもHP発信浸透することで新しい名古屋の観光資源を増加できる。特に舟運遺構の活用、歴史的土木施設でもある堀川、中川運河を舟めぐりすることで、名古屋市都市計画、社会資本ストックの重要性への理解が深まる。水辺の繋がりを軸にまちづくり団体と一体的な情報共有、催事運営やコンソーシアム化もできる。	

3 活動にあたり他団体(町内会、自治会他)、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
堀川まちネット あつた宮宿会 名古屋SUP推進協議会 那古衆 ゴンドラと堀川水辺を守る会 名古屋堀川ライオンズクラブほか	実行時の協力体制(情報共有について)

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

まちづくり活動の実施スケジュール

- ・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。
- ・1 ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2020	4		
	5	現場視察	堀川中流部（沖正商店）打合せ
	6	資料作成	スケジュール打合せ
	7	関係者打合せ 事前現地調査	予算整理
	8	事前現地調査	
	9	航路管理者届け出	
	10	試験航行 関係者試乗 （堀川・桑名）	乗降機能、安全確認と綱取り講習
	11		
	12		
2021	1	とりまとめ	課題抽出 次年度企画確認
	2		
	3		

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

費 目 手引きの費目を参照		活動項目	内訳・算出根拠	金 額 (円)
まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円				50,000,-
活動 経費 の内 訳	会場費	施設使用料	倉庫建・着岸階段使用賃借 礼金	5,000
	物品費		ライフジャケット 2着@4000 ロープφ10mm 10m @2000 ほか	12,000
	借上費	チャーター船	10名 船頭付き	33,000
	消耗品費	ヒアリング用品 購入ほか	バッグ、ルーズリーフ・ノート、 ボールペン、バインダー、防水ケ- ース、切手、封筒、コピー代等	5,000
支出合計				55,000

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする。